

NPO 法人岡崎がくどうの会 2023.02.05

## 2022 年度学童ひろば in 尾張旭

“いっしょに子育て学童保育” ～子どもを真ん中に～

【クラブ】（風の子クラブ）

【名 前】（ 鈴木 美幸 ）

ひろばの参加は 2 度目。初めて参加させていただいた豊川のひろばは当時、運営側のことを何一つ分かっていなかったため、説明を聞いても全く分からなかったことしか記憶してないことを反省し、今回の尾張旭のひろばは、何かしら保育のヒントとなるものを持って帰ろうと意気込んで臨みました。

話の中で「保護者と学童保育所が一方通行」との言葉が心に残りました。

私たちには、保護者会があり、保護者役員もあり、保護者代表もあり、また各クラブからお便りや研修レポートを出していることで、指導員の子どもたちに対する思いや日々の保育観は、大なり小なり伝わっていると思います。

たとえば「遠足に連れて行ってくれてありがとう」「子どもたちの楽しむイベントを考えてくださってありがとう」「お便り、楽しく読んでいます」と指導員に言うくださる保護者がたくさんいます。中には私の研修レポートを読んで、「障がいについて勉強してくださってありがとう」と言ってくれた保護者もいます。このように私たち指導員が、会議やお便りや日々のお迎え時の会話でもって伝えることで、保護者が何かを感じたり、思ったりしてくれたのなら、それは一方通行ではないと思います。

日常の些細なことを些細なことと思わず、しっかり伝えていくこと。しっかり伝えていくためには、2つしかない『目』でしっかり見（診、観）て感じて、子どもたちに思いをさせ、指導員同士で子どもたちの様子を共有して、保護者に伝えていかなければならないことを改めて感じました。

今後も、私たちの思い、保育観がより伝わるように心がけていこうと感じたひろばでした。

「サトシン」さんの読み聞かせは、単純に楽しく聞けたもの、考えさせられる内容のものあり、一曲でわかる日本昔話は、保育時間に子どもたちに聞かせてみようと思いました。